

# やまびこ

(社)愛媛県栄養士会医療事業部編集

## 会 長 挨拶

(社)愛媛県栄養士会医療事業部  
部長 永井 祥子

平成27年度初回のやまびこ発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。この度、医療事業部長を拝命致しました愛媛大学医学部附属病院 永井祥子です。宜しくお願い致します。

さて近年、医療を取り巻く環境も、目覚ましく変わって参りました。平成24年4月の診療報酬改定を機に、入院時に患者の栄養状態を医師、看護師、管理栄養士が共同して確認し、特別な栄養管理の必要性の有無について記載すると共に栄養管理が必要な患者に対して栄養管理計画書の作成を行い定期的な評価とプランニングが求められるようになりました。何れの施設においても、本改定に基づき入院患者の治療において栄養状態の維持あるいは改善に努め、個々の患者の栄養状態を疾病状態や治療に即して関わりを行っているものと思います。しかし、栄養士、管理栄養士の人員的な確保が困難なことも相まって指導体制が整わず、栄養のみならず病態生理や薬に関する影響など多くの知識習得について不安を感じている会員も少なくないのではないのでしょうか。平成26年4月には、日本栄養士会の生涯教育も進んで参りましたが、多くの研鑽の場に関する情報提供にも務めさせていただき、会員の皆様方が日々の業務実践に繋げていければと思っています。その他、先般、話題にもなりました医療保険制度改革法により、低所得者を除き入院時食事療養費の自己負担額が、現行の食材費相当額の1食260円から2016年度には1食360円、2018年度には調理費相当額を含め1食460円に段階的に引き上げられることになりました。食事療養を預かる栄養士、管理栄養士としても入院時栄養管理に大きく関わる部分でもあり、考え深いものだと思います。より良いものに繋げるためにも検討すべき事項も多いのではないのでしょうか。

さて今年6月には、愛媛県栄養士会の役員改選に伴い理事選挙が行われる予定です。医療事業部の会員として意見をもち、研修の在り方や栄養士、管理栄養士の方向性について、実践的にご協力を頂ける方役員ならびに理事立候補者を求めています。日本栄養士会の下部組織として、病院に携わる管理栄養士・栄養士の行くべき方向性を示し導く使命を持っていますが、今後の飛躍に向けて会員のための愛媛県栄養士医療事業部体制整備をすすめるために、ご協力をお願い致します。また、会の更なる発展と充実のために、皆様方の要望事項やご意見等をお聞かせ頂けますと幸いです。

会員の皆様方のますますのご活躍を心より祈念致しております。

## 平成 26 年度 スキルアップセミナー出席報告

喜多医師病院 井上 涼子

日時 平成 26 年 11 月 15 日(土)～16 日(日)

場所 東京医科歯科大学

内容 栄養士に必要な感染管理対策

### 1. 栄養士に必要な感染管理対策

- ・ MRSA
- ・ インフルエンザ
- ・ 風疹
- ・ 帯状疱疹
- ・ HBV ワクチン
- ・ 破傷風
- ・ 結核
- ・ ノロウイルス

### 2. 事例検討『もし食中毒が起きたら？あなたならどうする？事例より考える』

- ・ JCHO 宮崎江南病院における感染性胃腸炎（ノロウイルス）の集団発生への対応について

栄養管理部の対応

発生時の状況把握・保健所の厨房立入検査・保健所職員の聞き取り調査・朝食の準備・検便と厨房立入検査の結果・配膳車、下膳車の取扱い・残飯・食器等に係わる病棟での対応

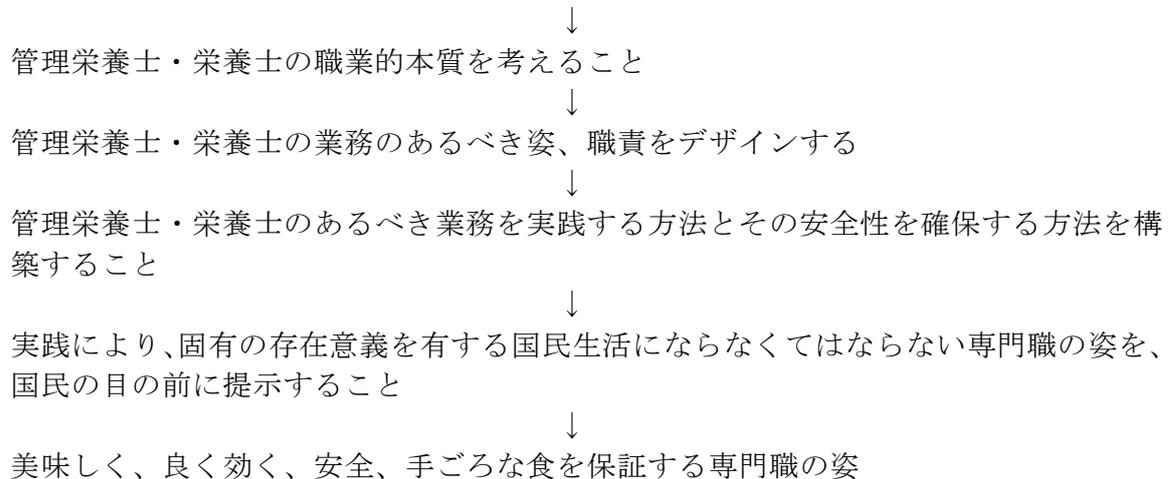
《反省点》

- ・ 夕食提供中止の指示を受けたのが 17:00 頃であったこともあり、夕食は非常食提供にとどまった。
- ・ 非常食の保管状況の整理がなされていなかったため、すぐに取り出せなかった。
- ・ 調理スタッフの精神的ダメージが大きかった。
- ・ 調理スタッフのトイレは、専用を使用するように周知徹底した。
- ・ 病棟からのウイルス持ち込みがないように入出口には消毒用マットに次亜塩素酸をしめらせたものを敷くようにした。
- ・ 残飯は、病棟で処分してもらったが、水分を含んでいたのがみ袋が破れてごみ捨て場に残飯がまき散らされていた。
- ・ 夕食の中止を館内放送したほうがよいと看護師より意見をもらった。



### 3. 「医療安全」にどう臨むかー法律家の観点

「医療安全」に取り組むことは、管理栄養士・栄養士の業務の本質的な意義を捉え直すこと



### 4. 中越地震と中越沖地震からの教訓

震災を体験して今後の課題

- ・ 非常時の食事対応と栄養管理
- ・ 災害時備蓄品の確保
- ・ 入院患者様への現状報告の必要性
- ・ 業者との連携（契約業者など）
- ・ マニュアルの整備
- ・ 非常事態に必要なものを備える

※ 緊急非常事態ではチームワークが大切！！

### 5. 講演 「支援者対応 サイコロジカルファーストエイドとは」

サイコロジカルファーストエイド（PFA）は支援者が被災者と関わる時、被災者が現状以上のダメージを受けることを防ぎ、どのように安全なサポートを提供するかその準備をするための研修です。

臨床的な介入でもなければ、新たな役割を獲得するためのトレーニングでもない。被災者への救助や支援を、現在の役割の中でより良く提供するために役立つもの。責任を持って支援するためには、更なる害を与えるのを避け、文化に適応した方法で支援し、現場で提供されている他の緊急支援についても知っておくことが重要であり、セルフケアの実践は不可欠である。

ポジティブな対処法を奨励し、ネガティブな対処法を避ける。

過剰な支援より、本人が対応出来るよう手助けする。

自分自身のストレスや燃え尽きサインを知り、セルフケアの責任をもつこと。これは支援者としての役割を効果的に果たす為に大切である。

#### 感想

食中毒が起きた時の対応、事例検討がとても勉強になりました。  
他部署との連携の大切さ、マニュアルの必要性を改めて実感いたしました。  
参加させていただきありがとうございました。

## 第 34 回食事療法学会に参加して

八幡浜医師会立双岩病院 塩田 由美子

日時：3月28日（土）～29日（日）

場所：仙台国際センター

テーマ：ありがとう 伊達の国から新たな一歩

### 【1日目】

特別講演	高血圧治療ガイドライン 2014 の改訂～生活習慣改善：食事療法を含めて～ 札幌医科大学学長 島本和明先生
ランチョンセミナー	肝硬変患者の栄養状態を悪化させないために 獨協医科大学越谷病院消化器内科 准教授 鈴木孝和先生
文化講演	Café de Monk 移動傾聴喫茶 お坊さんが文句聴きますよ 曹洞宗通大寺住職 金田諦應先生
学術講演	周術期管理の実際と栄養療法の意義 岩手県中央病院消化器外科診療科長宮田剛先生
会員対話	将来の病院栄養士の専門性について

### 【2日目】

教育講演	朝食の質が脳機能や脳発達に強い影響を与える 東北大学加齢医学研究所脳機能開発研究分野教授 川島隆太先生
ランチョンセミナー	「人を育てる」視点を重視した教育の必要性 東北大学病院栄養管理室室長 岡本智子先生
シンポジウム	チーム医療によるこれからの在宅栄養管理の充実を目指して ○ICUと在宅栄養管理 医師：仙台往診クリニック 川島孝一郎先生 ○地域を耕す・医療連携と暮らしの保健室の実施から 看護師：(株)ケアーズ白十字訪問看護ステーション 秋山正子先生 ○在宅食支援～おいしい笑顔のために～ 管理栄養士：地域栄養ケア PEACH 厚木代表 江頭文江先生

このたび第 34 回食事療法学会に医療事業部より参加させていただきました。

食事療法学会は 2 日間行われ、先生方による講演だけでなく一般演題（口演・ポスター）もあり、盛りだくさんのプログラムでした。（日程は別表参照）

特に 2 日目に行われた教育講演がとても印象に残りました。まず講演始めに示された、小中学生時に朝食を食べる頻度が心身発達に影響を与えていること、朝食を習慣つけることはその後の大学進学や就職活動や就職後の年収にまで影響していたというデータでした。小中学生時に朝食を毎日食べる子供は、食べない子供に比べ午前中のやる気に変化が見られることもわかったそうです。さらに興味深い内容として、ただ朝食を食べればいいのではなく、朝食の質も重要であるということです。朝食を食べていても、主食のみだと糖は脳に届いても働かないため、ブドウ糖代謝を亢進させるものを一緒に食べないと動くことができません。おかずの品目と正相関しバランス良好であればあるほど、脳の働きは良くなるようです。また、朝食だけでなく食の果たす役割は大きく、一緒にホットケーキを作る朝食を介して親子でふれあうことは子供の安心感に結びつくことにもなり、食で意欲を変えられるという内容でした。小児患者と接する機会はありませんが、成人患者に対して栄養指導していく中でも朝食を食べないという方はたくさんいます。食に携わる者として、朝食の必要性を伝えていかなければと考えさせられました。

1 日目の文化講演では、震災から 4 年たってもまだまだ内陸部は復興が進んでおらず、癒えることなく苦しんでいる人が多数いることも知りました。話を聞いて改めて、震災があったことを忘れてはならないと痛感しました。

学会参加は初めてで少し不安でしたが、他県の管理栄養士さんと話す機会があり、様々な情報交換をすることができ大変有意義な時間を過ごすことができました。

少し病院業務で悩んでいたのですが、参加してみて管理栄養士としてまだまだ勉強したいなとモチベーションアップにつながった気がします。

今回、参加させて頂きありがとうございました。

## 中四国リーダー研修会 議事録



会 期；平成 27 年 1 月 24 日（土）～25 日（日）

場 所；JAL City 松山

出席者； 鳥取：井戸垣、持田、野田、引野、板坂、白井

岡山：市川、下山

広島：沼尾

山口：有富、田尾、青木、

香川：黒川、加村、石井

徳島：松村、古田、栢木、賀川

高知：新谷、伊興木

愛媛：利光、永井、中居、川本

### （1）医療（栄養部門）に関する動き 石川企画運営委員長より

#### 1) 食事療養費自己負担増について

保健局保健課との調整による説明したが、結果として自己負担は増加することになった。医師会への訪問協力依頼も行った。食事療養は治療の一貫であるという理解を頂いており、同様に反対意見であった。

平成 28 年度から 360 円/食、平成 30 年度から 460 円/食に段階的に引きあがるのが想定される。但し、低所得者については、変更は行わない。

平成 28 年度 本財源 1,200 億円の保険給付減額効果が認められる予定である。

#### 2) 後期高齢者の保健事業に関わる論点

保健センター等の拠点で管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士、保健師などの専門による訪問指導や相談はしてはどうか、といった相談打診が厚生労働省より相談があった。

推進医療封建制度改革骨子の中に、平成 28 年度から後期高齢者医療広域連合において、市町村の地域包括支援センター、健康センター等を拠点として栄養指導等の高齢者の特性に応じた保険事業を実施することが盛り込まれ、管理栄養士の業務充実は進められている。

#### 3) 人材育成事業（がん・腎臓病）

がん認定資格；日本栄養士会と日本病態栄養学会の共同にて CKD 認定資格；腎臓病専門の管理栄養士認定制度が進められている。

腎臓病の専門管理栄養士とはどうあるべきか、どのような研修をすべきかといった内容を経験や情報がある方が集まって対応していく予定。プレ研修；20 名程度参加予定。研修内容等を整備し、夏季くらいに研修会を開催し、来年 1 月日本病態栄養学会時に初回試験を実施予定。日本栄養士会 臨床栄養士又は病態栄養

認定管理栄養士の資格取得を基本として、がんの認定資格と同様に CKD 認定資格を取得する。

#### 4) 栄養分野認定看護師制度

看護師の中で栄養に関する認定資格が検討されており、その対策について検討する必要がある。看護師のみならず、院外薬局（薬剤師）やリハビリ栄養など、他の領域の栄養指導業務が進められつつあり、栄養士業務の早期確立と独占が必要である。

#### 5) 専門管理栄養士の認定資格について

がん、腎臓病以外に糖尿病についても同時に、日本病態栄養学会と協力して認定資格として検討されている。また、その制度に合わせて項目の整理を行う予定である。

- ①管理栄養士の病棟配置のように、広く浅く診療報酬算定要件に入れることは困難なため、認定資格者必置義務等の方針を要望する必要がある。
- ②栄養食事指導に関する点数増について、20 年間 130 点から変化はされておらず、特別食疾患の拡大、栄養指導点数の拡大など、検討し要望を検討する。
- ③かかりつけ医のメリット部分を設けるなど、病診連携に関わる点数の要望を検討する。
- ④摂食嚥下についても検討されている。

#### 6) その他検討事項

チーム医療他の施設認定など、管理栄養士の名称が必須である。

看護師、薬剤師他、栄養指導に関する業務を行う方向がある。また、関連勉強会の講師依頼を受ける状況にあり、チーム医療他、管理栄養士の名前を必須とする要望があった。

嚥下食加算については、OT、ST、看護師他とチーム医療の一貫として管理栄養士の名前を必須とする要望があった。

外来患者の栄養評価について、要望依頼を行う。

##### ○初任者臨床研修について

初任者臨床研修を受講した場合は、生涯教育 30 単位を取得することができる。

##### ○生涯教育の No 変更について

各県によって NO 変更開始日時が異なることが予測されるため、認定資格振替 NO の確認方法にて検討を依頼。

旧 NO から新 NO へ項目がなく、変更ができないなどの問題点が提示された。

臨床栄養士の認定については、試験にむけて冊子を作成する予定。

##### ○全国医療事業部リーダー研修会の開催について

平成 27 年 5 月 9 日に全国医療事業部リーダー研修会、開催予定。

#### 7) 手帳（案）について

名称；健康栄養手帳（仮）

目的；過栄養～低栄養、外来、入院、在宅、福祉といった拡大領域まで

年齢；学童期～高齢期

医療事業部企画運営委員会 1 月 31 日 日本栄養士会にて検討し健康栄養手帳

(仮)について検討し、今後の作成に繋げる。  
病態説明；CKD、サルコペニアを入れる。  
検査値；旧名称について（ ）書きで入力する。  
例；AST (GOT)、脂質代謝異常（高脂血症）

8) アンケート結果について

岡山県、山口県から報告があった。

50床に一人の栄養士配置が多く、現在日本栄養士会が提示している人数体の見直しについて要望する。

学会は、日本静脈経腸栄養学会、日本病態栄養学会の所属率が高い。

香川県；実施は行っているが、集計は未

高知県；高知県栄養士会として実施

徳島県、愛媛県について、実施経験がなく県栄養士会の理事会にて検討する。

その他の県は、実施予定であるが未実施

9) 下半期統一議題について

①入院時食事療養費自己負担問題への対応 周知と対策

・医療分野における栄養食事指導料の再検討

200点にアップ(根拠)

・入院中の栄養指導回数の撤廃

・特別食 76円/食は適切か。アップするならいくらが妥当か。

・1人/50床の管理栄養士の配置の根拠および試算等についての意見、提案

②医療分野ビジョン達成のための実務研修計画について

③組織強化

④栄養部門実態調査中間調査結果報告とその考察について

⑤その他

10) その他

嚥下困難な患者さんへも対応可能な非常食の紹介があった。

徳島県より、研修会の案内があった。

次回；平成27年8月23日又は8月30日 10:30から高松サンポートにて開催予定。

次々回；平成28年1月末に山口県にて開催予定



## 新 役 員 紹 介

平成 27・28 年度愛媛県栄養士会 医療事業部役員

役職	所属支部	所属	氏名
部長	松山	愛媛大学医学部附属病院	永井 祥子
副部長	松山	松山赤十字病院	織田 由紀
副部長	宇和島	社会福祉法人旭川荘南愛媛病院	都能 綾子
専門委員	西条	医療法人住友別子病院	十河 美保子
専門委員	西条	医療法人慈風会白石病院	菊池 のぞみ
専門委員	松山	医療法人仁友会南松山病院	中居 理恵
専門委員	西条	医療法人康仁会西岡病院	星川 紗央里
専門委員	西条	一般財団法人新居浜精神衛生研究所豊岡台病院	大井 美貴
専門委員	八幡浜	市立大洲病院	都田 慶子
専門委員	八幡浜	医療法人福寿会宇都宮病院	岡田 美恵
専門委員	西条	医療法人弘仁会共立病院	石原 真由美
専門委員	今治	済生会今治病院	石丸 和幸
専門委員	松山	医療法人聖愛会松山ベテル病院	白石 由美
専門委員	松山	医療法人中川病院	篠崎 さおり
顧問	松山	愛媛大学医学部附属病院	利光 久美子



平成 27・28 年度愛媛県栄養士会役員（医療事業部所属）

役職	所属支部	所属	氏名
理事	松山	愛媛大学医学部附属病院	永井 祥子
理事	今治	医療法人平成会山内病院	木村 麻美子
理事	宇和島	JCHO宇和島病院	濱田 千鶴
理事	八幡浜	医療法人北斗会大洲中央病院	松田 恵子

## 研 修 会 案 内

1. 病態栄養を学ぶ会  
日時：平成 27 年 6 月 27 日（土）11：00～13：00  
会場：南海放送 本町会館
2. 愛媛NST研究会  
日時：平成 27 年 6 月 27 日（土）14：00～17：30  
会場：南海放送 本町会館
3. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術集会  
日時：平成 27 年 9 月 11 日（金）～12 日（土）  
会場：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都
4. 日本病態栄養学会年次学術集会  
日時：平成 28 年 1 月 9 日（土）～10 日（日）  
会場：パシフィコ横浜
5. 第 31 回日本静脈栄養学会学術集会  
テーマ：臨床栄養におけるリスクマネジメント  
～臨床栄養の質の向上による各種疾病のリスクマネジメントを目指して～  
日時：平成 28 年 2 月 25（木）～26 日（金）  
場所：福岡国際会議場、マリンメッセ福岡、福岡国際センター、福岡サンパレス
6. 食事療法学会  
テーマ：未来に向けた医と食の創造  
～人・まち・自然がつながる交流・創造都市愛知からの発信～  
日時：平成 28 年 3 月 5（土）～6 日（日）  
場所：愛知県産業労働センターウイングあいち

### 【編集後記】

25・26 年度と栄養士会役員に初めて携わらせて頂きました。至らない点多々あり、ご迷惑をおかけすることもありましたが、役員の仕事をする中で、栄養士会の組織についても理解することができました。何より、日頃の業務についての情報交換や、相談が出来る頼もしい栄養士仲間が作れました。皆さんも、是非一度は経験してみてください。

今後の「やまびこ」について皆様のご意見、情報等ありましたら、担当者までご連絡ください。

最後に、記事にご協力して頂いた会員の皆様ありがとうございました。

[ 編 集 責 任 者 ]	愛媛県立新居浜病院	藤原 真紀子
[ 編 集 担 当 ]	医療法人専心会西条市立周桑病院	日野 恵子
	医療法人団伸会奥島病院	石田 美津子